



▲柳定行さん、曉美さんご夫婦（鶴野町）を撮影する宮本さん（左）

高齢夫婦の笑顔撮影し 67年 延べ 2,994組

7月15日～17日、フォトスタジオ栄光社の宮本博文さん（北条町古坂）が、地域への恩返しとして市内を訪問撮影しました。同社は、昭和34年からボランティアで高齢者夫婦の記念撮影を続けており、今回で累計2,994組となりました。宮本さんは「大先輩の幸せな笑顔を撮影できたことに心から喜びを感じています。人とのつながりを強く実感します」と話されました。



▲同改良区職員から施設の説明を受ける参加者ら

水の歴史を後世に伝える「飯盛野疏水ウォーク」

7月12日、加古川西部土地改良区主催で「飯盛野疏水^{いいもりのそすい}」を巡る疏水ウォークが開催され、いこいの村はりま（笹倉町）から殿原町の万願寺川^{しゅすいこう}の取水口まで約3.5kmを歩きました。同改良区職員から施設の特徴や歴史の解説があり、先人の苦労などを学びました。参加者は「明治時代に造られた民家の下を通るトンネルが、現在も当時のまま使用されていることに驚いた」と話しました。



▲児童たちが育てた野菜を販売している様子

わたしたちの野菜を食べて 「宇仁の朝市」

7月12日、宇仁小学校3年生の児童9人は、「滝野温泉ぽかぽ」で自分たちが育てた野菜を販売しました。この活動は、地域の方から「朝市を活性化させてほしい」という願いを受けたことをきっかけに、4月からキュウリやミニトマトなど6種類の野菜^{たかとりまもる}を育て始めたものです。鷹取遵さんは「宇仁の人いろいろな食べてほしい」と話しました。



▲釣りざおで夏野菜をつり上げ子どもたちの歓声が沸く様子（写真は「やさいつり」コーナー。釣りざおで野菜を釣る体験が楽しめる）

太鼓作りで命の大切さを学ぶ

7月27日、善防公民館で市内の小学生21人が人権学習として、十八代目太鼓屋六右衛門・杉本大士さんの指導のもと、牛の革を使った太鼓作りを体験しました。牛の皮をなめして革に加工することを初めて知ったという児童もあり、命の尊さや感謝の気持ちを改めて学ぶ機会となりました。児童たちは「命のつながりを感じた」「太鼓をより大切にしようと思った」と話しました。



▲牛の皮を張りオリジナルの太鼓を作る親子

プロから学ぶミニ畳づくり 北条東小4年

7月2、3日に北条東小学校4年生61人が、ミニ畳作りを体験しました。畳職人の高橋克仁さん（高橋畳店）が、実演を交えて作り方のコツを指導。児童たちは、畳の主材料であるイ草の香りが漂う中で楽しく作業し、縦20cm、横30cmのミニ畳を完成させました。梅本妃花^{ひな}さんは「迷彩柄の縁にした。自衛隊で働いている兄にあげたい」と話しました。



▲5脚の待合椅子を完成させた西在田小の児童たち



▲高橋さんから作り方のコツを教わる児童たち

はッピーバスの利用促進へ 待合椅子を製作

7月15日、西在田小学校6年生はNPO法人「原始人の会」と「はッピーバス」の停留所に設置する椅子を製作しました。完成した5脚の椅子には、原始人の会やはッピーバスにちなんだ絵が描かれています。はッピーバスは、西在田地区と在田地区の一部で運行し、地域外の方も利用できます。すてきな椅子で一息つきながら、はッピーバスを利用してみませんか。

家族で楽しむ夏の風物詩 カブトムシ特別列車

7月19日、20日に北条鉄道で「かぶと虫列車」が運行され、合計204人が乗車しました。車内では、北条高校や播磨農業高校の生徒たちが司会を務め、カブトムシにまつわるクイズやじゃんけん大会などを楽しみました。藤原未来翔^{あすと}さん（北条町古坂）は「すごく楽しかった。大切に育てていきたい」と笑顔で話しました。



▲カブトムシを手にする藤原央瀬^{おうえ}さん（左）と藤原未来翔^{あすと}さん



▲平和の尊さについて対談する（左から）春風小イチロー^{あつみ}さん、小谷孝子^{あつみ}さん、旭堂南海^{あつみ}さん

腹話術人形「あっちゃん」と平和を考える

8月9日、市連合婦人会など市内7団体による実行委員会主催で、被爆者であり腹話術師の小谷孝子^{あつみ}さんを迎え、腹話術人形「あっちゃん」と被爆体験を語る講演会を健康福祉会館で開催し、約250人が来場しました。また、講師・旭堂南海^{あつみ}さんによる新作「鶴野飛行場物語」やトークショーも行われました。小谷さんの講演は、九会学童保育園と富合学童保育園でも実施されました。



▲果物などの食べ物を使って電池を作り、仕組みを学ぶ参加者ら（写真は「たべもの電池をつくろう」の体験コーナー）

14の企業・団体が連携 SDGsで広がる学び

7月26日、加西市とSDGsの目標達成に取り組む企業・団体が連携した「かさいSDGsフェスタ2025」をアスティアかさいで開催しました。コピー機を使ったオリジナルシールづくりなど15のワークショップを通じてSDGsへの理解を深めました。食べ物電池^{あつみ}づくりに参加した上田篤希^{あつみ}さん（賀茂小3年）は「レモンが果物で一番電気を通すことが分かった」と話しました。